

2010年度

| | | | |
|-----------------------------------|--|-----|-------|
| 科目名 | 教育実習指導(地理歴史) | | |
| 担当教員 | 宇野 佳子、松田 智弘 | | |
| 配当 | 文財4 | コード | 80441 |
| 開期 | 集中通年 | 講時 | 集中0限 |
| 単位数 | 1 | | |
| 授業テーマ | 高校地理歴史の学習指導要領の確認と教職への一体感について | | |
| 目的と概要 | 教育実習は大学における教育職員養成課程の基礎として、高等学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する課業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとまりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。 高校の地理歴史の学習指導要領を確認して、地理歴史の授業に備える。地理AB、歴史(日本史・世界史)ABのいずれも実習できるように準備する。 | | |
| 成績評価法 | (1)授業後のレポート(50%) (2)教育実習終了報告書・実習校評価(30%) (3)授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。 | | |
| テキスト | 適宜資料を配布 | | |
| 参考書 | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | (1)授業の開講日に注意 (2)教育実習の手続きを確実に (3)「実習後報告書」の提出 (4)授業は2名の教員で実施 | | |
| 講義計画 | | | |
| 第1回 | 教職課程・教育実習の意義を理解する。 | | |
| 第2回 | 実地研究の観点や学習指導の心得等々について理解を深める。 | | |
| 第3回 | 実地研究の観点や生徒指導について理解を深める。 | | |
| 第4回 | 実習手続きの指導(教務課) | | |
| 第5回 | 実習直前のまとめ | | |
| 第6回 | 人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。 | | |
| 第7回 | 学習指導要領の地理的分野の概略。 | | |
| 第8回 | 学習指導要領の歴史的分野の概略。 | | |
| 第9回 | 学習指導要領の公民的分野の概略。 | | |
| 第10回 | 実習校の説明を各自に確認してもらう。 | | |
| <教育実習> | | | |
| * 実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前 | | | |
| * 高等学校教育実習(専任教員による訪問指導) | | | |
| * 実習終了報告書の提出 | | | |
| 第11回 | 実地研究のまとめ・発表と講評指導。 実習後の感想と、教師になろうと思うかについてレポートを書いて提出する。 | | |